



Gallery

3
第5回コンテスト
国内
入選作品

地球を救う子どもたち

地球環境世界児童画ギャラリー

JQA、IQNet主催、UNICEF駐日事務所後援による「地球環境世界児童画コンテスト」。第5回コンテストには、世界51カ国から12,597点におよぶ作品が寄せられました。「地球環境を破壊しないで欲しい」という世界中の子どもたちの熱い願いが込められた作品の数々。今回の誌上ギャラリーは、国内の子どもたちの入選作品をお届けします。



大山千晶(神奈川県藤沢市立高砂小学校2年生・7歳)
「たくさんの雪の中で、いつまでもスキーをやりたいと思って描きました」



川本卓範(神奈川県松田町立松田小学校3年生・8歳)
「僕の家のみかんの木は、背が低くて、みかんが大きいやつです。とてもぎやすくおいしいみかんです」



長谷川千華(三重県名張市立桔梗が丘小学校6年生・12歳)
「これは、雪国で出来るかまくらです。私は、かまくらの中に入ったことはいっただけけれど、とても暖かいそうです」



大竹ひとみ(千葉県船橋市立高根小学校6年生・11歳)
「汚い水のところで暮らしている鳥達が、きれいな水で暮らせるといいなあ」



直江 眸(秋田県横手市立横手南中学校2年生・13歳)
「秋田県男鹿市の伝統文化「なまはげ」を描きました。夜に、家を周ってくるなまはげを切り絵を使って表現してみました」



高祖麻子(岡山県立岡山操山中学校3年生・15歳)
「空を飛ぶ魚は、いつも海面に写る。大空を見つめていた。そしてある日、天空の世界をめざして、新たな別天地の旅にでた」

作者の年齢は応募当時のものです。